

これからの

保育と

その展望

良い土壌になろう！

今、保育の世界は大きな転換期を迎えています。

本講演では、これからの時代に求められる保育力と保育動向や

展望について解説します。

また、自身の保育士としての育ちを踏まえながら、これから保育者を目指す皆さんにどのような経験や力が必要かを話したいと思えます。

子どもの気持ちに寄り添い、行動や表情に表面化されていない「気持ち」や

「心の動き」を読み取り、保育の専門性を言葉で他者に伝える（言語化する）

ことで、子どものよりよい育ちや学びにつながるよう働きかけていくことは

保育の基本です。それと同時に、保育者には目先の技術だけでなく、

保育者本人が心から楽しんだ経験や豊かな感性などが

「専門性」や「人間性」として表れてくるのです。

毎日の生活の中で、心をたくさん動かしながら、

保育者としての土壌（へつり）をこつこつまこまこつちよう。

日時

7月6日(土)

14:30 (受付:14:00)

会場

広島女学院大学
ヒノハラホール5F

広島市東区牛田東4-13-1
TEL 082-228-0386 (代)

入場無料

講師

上村初美

(全国保育士会会長)



【上村 初美プロフィール】

全国保育士会会長、認定こども園砂山保育園副園長・福岡県保育士会会長
昭和50年に、福岡県中間東幼稚園の教諭から保育人生をスタートさせる。4年後に、保育士だった母と社会福祉法人二葉会砂山保育園を開設。二葉会の二葉は母と自分のこと。開園以来ずっと、園長の母と二人三脚で、自身は常に保育の現場の第一線で働く。平成19年、社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国保育士会の副会長になり、平成23年に同会の会長に就任。保育の質の向上のための研修、保育士の働く環境づくりや処遇改善の為の提言などに尽力。現在は、幼保連携型認定こども園 砂山こども園 副園長として、現場に立っている。

保育士・幼児教育関係者・
高等学校教員・幼児教育に
関心のある高校生
大歓迎です！